

# 図書館へ行こう！

読書は心の栄養です

日向学院図書館だより

第9号

平成28年9月5日発行

二学期がスタートしました。行事などで図書館を訪れる機会が多くなると思います。マナーを守って正しく利用しましょう。



## <図書館利用の三原則>

- ・制服で入館すること。体操服などでは入館できない。
- ・静かに読書・学習をし、他人に迷惑をかけないこと。
- ・図書のリターン期限はかならず守ること。

夏休みに借りた本は  
ただちに返しましょう！

## 9月の図書館利用日(表中の■は、休館日です！)

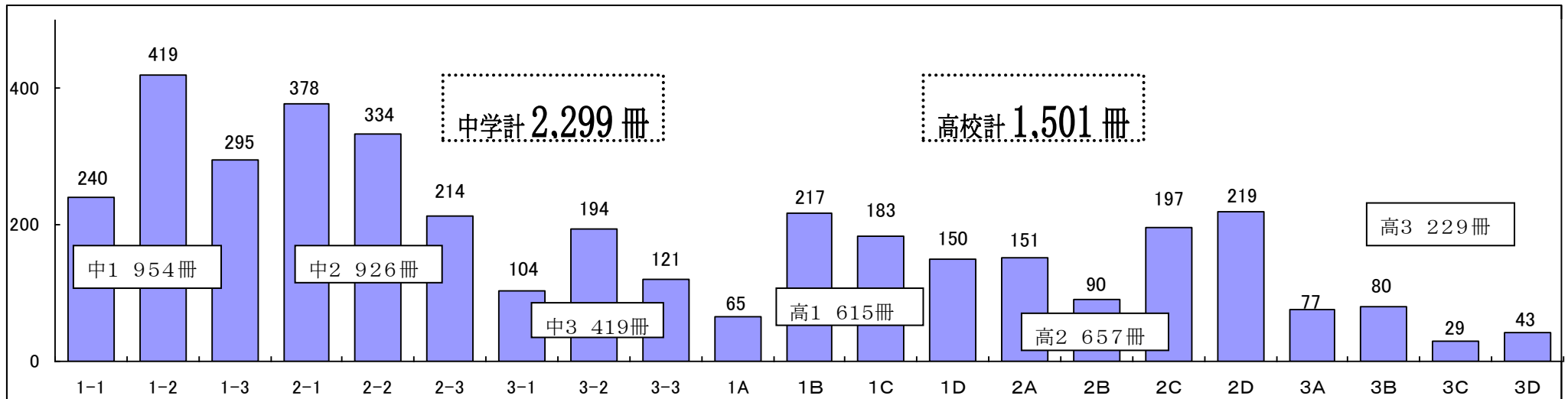
日	月	火	水	木	金	土
9/4	5	6	7	8	9	10 13:00まで
11(中) 体育大会	12 休館日	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

開館時間…10:00～18:15

「ボクの秋は読書の秋。秋は秋でも読書の秋」(10年ほど前の「読書に関する標語」優秀作品です。)

## 何冊読んだかな？ クラス別貸出冊数(4月～9/02)

たくさん読もう！いろいろ読もう！とにかく読もう！



予告 さて問題です。□に入る文字は何でしょう。 月日は□代の週□にして行きかう□もまた□人なり

2学期の図書館特別展示では、320年ほど前に書かれた ある人物の旅日記を紹介します。お楽しみに！！

# 図書館へ行こう！

日向学院図書館だより 第9号 平成27年8月19日発行

## 新着本棚より ～あすなろ書房『日本語を味わう名詩入門』全20巻

各巻ごとに編者が選んだ詩人の「名詩」が収められている、詩集シリーズを購入しました。

### 音楽や絵画を楽しむように

「詩は『言葉の音楽』『言葉の絵画』ともいわれます」…こんな編者の言葉で詩集は始まります。さあ、みんなで、優れた詩人がつくった「心の音楽」や「心の絵」に会いにいきましょう。そして心ゆくまで楽しみましょう。楽しい『言葉の旅』でありますように。

### 詩を「味わう」ためのいくつかの工夫

このシリーズは、「美しい言葉による書物からの語りかけを、心のどこかで気づかないまま求めている」であろう、子ども達のために編まれています(巻末「父母と教師のみなさんへ」)。分かりにくい語や表現には簡潔な注があり、一つ一つの詩の後に解説文があります。それらは説明的で押し付けがましいものではなく「感動の主体が明確になることを主眼」としたものです。

また、巻末に「詩人のプロフィール」と「詩の理解を深めるために」という編者の著した文章が掲載されています。巻ごとに異なった画家やイラストレーターによる挿画が随所にあります。

### 朗読の勧め

このシリーズの「名詩」はどのような基準で選ばれたのでしょうか。編者によれば、

- (1) その詩人にふさわしい個性的な作品
- (2) 子どもたちにとって適当な長さの作品
- (3) 朗読・暗唱に活用できる作品 だということです。実際に詩を読んでみるとまさにそのような点から選ばれています。特に編者が繰り返し勧めているのが、声に出して読むことです。この詩集の中には、朗読に適した詩がたくさん収められています。

この本を手にした方は是非声に出して読み、日本語の持つ良さを味わってみてください



### 収録詩人

- ・宮沢賢治
- ・金子みすゞ
- ・八木重吉
- ・山村暮鳥
- ・立原道造
- ・中原中也
- ・北原白秋
- ・高村光太郎
- ・萩原朔太郎・室生犀星
- ・丸山薫・三好達治
- ・サトウハチロー
- ・草野心平
- ・高田敏子
- ・新川和江
- ・山之口獺
- ・茨木のり子
- ・工藤直子
- ・谷川俊太郎
- ・まど・みちお
- ・石垣りん